

# 製品安全データシート

会社名 サンライ株式会社

住所 東京都千代田区神田和泉町1-9-8木村ビル4F

連絡先 TEL03-3866-2476 FAX03-3866-8655

作成・改訂 平成 7 年 4 月 1 日

整理番号.1004

製品名 フラストップ FR-1

物質の特定 単一製品・混合物の区分：混合物

成分及び含有量

成分	含有量	化学式	既存化学物質	CASNo.	国連分類	国連No.
弗素樹脂	5.0wt%	企業秘密	企業秘密	なし	該当しない	該当しない
シクロヘキサン	20.0wt%	C <sub>6</sub> H <sub>12</sub>	3-2233	110-82-7	クラス3. 等級Ⅱ	1145
ペプタン	30.0wt%	C <sub>7</sub> H <sub>16</sub>	2-7	142-82-5	クラス3. 等級Ⅱ	1206
ヘキサン	45.0wt%	C <sub>6</sub> H <sub>14</sub>	2-6	110-54-3	クラス3. 等級Ⅱ	1208

危険有害性

分類の名称 引火性液体

危険性 消防法危険物第4類第一石油類

蒸気は空気より重く、地面をはい、かなり遠くの低所に滞留し爆発性混合ガスを作りやすい。

火気厳禁

有害性 吸入 蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、吐き気、高濃度の時は麻酔作用があり、意識喪失する。

皮膚 液に繰り返し接触すると、皮膚が侵される。

目 目に入ると、目を刺激する。

応急処置

蒸気を吸入した場合

気持ちが悪くなったら、空気の新鮮な所に移し、場合によっては、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合

人差し指を喉に入れるか、生暖かい食塩を飲ませるかして吐かせ。多量に飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受ける。

皮膚についた場合

流水と石鹸で十分に洗い流す。被服は蒸発熱で体温を奪いますので、脱いで乾かす。必要に応じて医師の診察を受ける。

## 目に入った場合

直ちに清浄な流水で十分に洗い流す。刺激が残るようであれば、医師の診察を受ける。

## 火災時の措置

### 消火方法

1. 周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。
2. 移動不可能な場合は、容器の周辺に散水して冷却する。
3. 着火した場合には、初期には粉末、炭酸ガス、乾燥砂、ハロゲン化物を用いる。
4. 大規模火災の際には、泡消火器等を用いて空気を遮断することが有効である。
5. 爆発の恐れのある時は、付近の住民を退避させる。

### 消火剤

粉末、炭酸ガス、泡、ハロゲン化物、乾燥砂

## 漏出時の処置

### 少量のこぼれ

点火源を取り除き、公共の排水溝等への流出を避ける。速やかに流出物を回収し、ウェス等でふき取り、漏洩場所に土砂、または吸収剤を散布する。

### 多量のこぼれ

必要な箇所に通報して応援を求め、漏洩した場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。風下を避ける。

## 取扱い及び保管上の注意

### 取扱

火気、静電気、衝撃、火花等による着火源の生じないように注意する。(防爆構造が望ましい。)

作業を開始する前に、換気扇または局所排気装置を作動し、保護マスク、保護手袋等を用い、直接触れないようにする。

### 保管

容器は密栓し、こぼさぬように注意し、火気、直射日光を避け、冷暗所に保管、危険物倉庫に必ず保管する。強酸化剤と同一場所に貯蔵しない。

雨水の混入禁止

## 暴露防止措置

許容濃度 ACGIH 200 ppm

設備対策 局所排気装置(防爆型)

保護具 有機ガス用防毒マスク、不浸透性保護手袋、保護手袋、保護メガネ、労働衛生保護衣類

## 物理・化学的性質

外観 無色透明液体

比重 0.701(20.0℃)

融点 -95.3℃  
引火点 -17.0℃  
爆発範囲 1.2 vol%~6.7 vol%  
沸点 68.7℃~98.4℃

#### 廃棄上の注意

産業廃棄物処理法に従い、産業廃棄物処理業者に委託する。

#### 輸送上の注意

消防法の定めるところに従う。

運送に際しては漏れ、転倒、落下がないようにする。

#### 環境影響情報

オゾン破壊係数なし

#### 適用法規

化学審法	既存化学物質
消防法	危険物第4類第一石油類
毒劇物	該当せず
オゾン保護法	該当せず

#### 参考文献

12093の化学商品(化学工業日報社)、溶剤ハンドブック(講談社)、溶剤ポケットブック(オーム社)、化学大辞典(共立出版)、化学物質の危険・有害便覧(中央労働災害防止協会)、原料会社提出のMSDS

※危険・有害性の評価は、必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意する。